

# 安心で豊かなまちづくり

市長就任1年目を迎えられようとする齋藤舞鶴市長と上西会頭に、舞鶴の発展を目指し取り組んでおられるそれぞれの視点から「まち」と「ひと」について語っていただき、私たちが2008年の新春を心新たに踏み出す一歩になることを目的に開催しました。

## 対談者

舞鶴市長  
齋藤 彰 氏  
舞鶴商工会議所 会頭  
上西 勝 己

## 司 会

舞鶴商工会議所 広報委員長  
廣瀬 久 哲



握手を交わす齋藤市長（左）と上西会頭（右）

## 2008 新春特別対談

### 司会

あけましておめでとうございます。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

就任後、初めてのお正月を迎えられた齋藤市長と上西会頭に今年の「抱負」と舞鶴の「未来と夢」を語っていただきたいと思います。

### 政経一体による 舞鶴の活性化



齋藤 彰 市長

### 齋藤市長

あけましておめでとうございます。昨年、上西会頭さんが新任あいさつにお見えになられた時に、市内中小企業の経営安定と活性化を図るために、政経一体となり同じ方向に進んでいくことが市民の幸福に繋がると、

お互いに確認しました。それを受けて今年、心新たに頑張っていこうと思っております。本日は初めての対談ということで感慨無量です。

地方や中小企業においては、依然として厳しい状況が続いている中で、まず1つには、市民の皆さんにとって、更に安心、安全なまちづくりを進め、安心感を持てる地域、まちにしていきたいと思っております。2つには舞鶴の潜在能力を引き出して発展の方向に結び付けていく。この2つのことを推進していくことが大事かなと考えております。そのために経済界の皆様と連携して、港湾、道路などのインフラ整備を更に推し進めていきたいと思っております。

### 上西会頭

私も同感であります。地方都市での格差が拡大傾向にある中で、まちを元気にしなければなりません。舞鶴は京都府北部の中核都市と言われていたのが、いつからか福知山に取って代わられたような感じになってきており、これは舞鶴市や福知山市という問題ではない。府北部全体の問題です。そのあたりをどうお互い

手を取りながら、活性化の方向にもっていくのが大きな課題だと思います。

港湾、道路が整備されて、それが経済に結びつくためにも、近畿北部の企業が港湾を利用できる体制にする。そのことによってまちの中に活気が戻るようにしたいと考えています。舞鶴は山と海に囲まれているが、幸い北には環日本海の対岸諸国という大きな「ビジネス市場」があります。日本海に開かれた関西経済圏の玄関港として大いなる可能性を秘めており、京都舞鶴港の活用を拡大することは大きな夢と希望が広がります。

### 齋藤市長

昨年、中国・大連との友好都市提携25周年を迎えましたが、これを機に両市の更なる発展と経済・貿易・文化などさまざまな分野での交流が促進されており、特にこれからは地域産業と結びついた経済交流が必要だと思います。

### 上西会頭

私は、大連市だけを対象にしたピザなし特区ができないかと思っております。

舞鶴は観光地である京都市、奈良市に近いですから、まず外国の修学